冒	(兼 題)
標」	
岡	
あきら	
選	×
「たっぷり」	(兼 題)
吉川らんまん	

選

目標があるから明日頑張れる 越えられる目標立てて欲張らぬ 目標も三日坊主の年始め 目標は無事故で今日も暮れました 目標が努力努力と尻叩く 目標は米寿を越えて白寿まで 目標を立てると勇気湧いてくる ライバルの背を目標に積む試練 目標へ頑張っている背のびして 佐藤 松田 富田 岡 あきら ちかし 子 美千代 治 治代 眞弓 蘭水 代 苦も楽もたっぷり食べて来た二人 たっぷりと香りふくませ手紙書く たっぷりのスキンシップで絆綯う たっぷりと飲んで何んでもない素顔 たっぷりとこの世楽しみ大往生 たっぷりの唐辛子かけ脱皮する たっぷりより程ほどがよいお説教 たっぷりと盛られた煮メ囲んでる 一度持って見たいなたっぷりした財布 軸 吉川らんまん 伊藤 珍部美江子 岡 あきら 煩悩 児 子 ちかし 敬 玲子 子 子

女人禁制遠い昔の話です地	禁断の果実はやはり美味しそう人	禁じられた遊びが今も絡みつく女人禁制はじめて拝む初日の出	禁じてもどこ吹く風で黄昏る禁じられ今日も美食の膳に病む	良く見える禁止区域の赤い花佳 句	「禁じる」 銭山
竹治ちかし	堀弘子	美智子	敬 美江子	らんまん	昌 枝 選
	終る頃なって後悔しています軸・・吟	幕下ろすまでは川柳続ける気天	終章はわたくしらしく賑やかに地	土に還る準備も出来て終の舞い人	「終 り」 竹治ちかし (席 題)
	竹治ちかし	銭山 昌枝	銭山 昌枝	伊藤 玲子	がし選

開けるなと言われた箱を蹴って見る

銭山

昌枝

禁じると強気になったカタツムリ

珍部美江子

天